

# 長野市伝統芸能団体

保存団体	フリガナ 団体名	シモウチカグラホゾンカイ 下内神楽保存会		
	伝統芸能の 名称	下内神楽		
	地区・ 行政区	戸隠地区・下祖山区		
行事（祭礼）	名称	下祖山区春の例大祭	下祖山区秋の例大祭	他
	場所	矢本八幡宮	柵健代神社	
	時期	5月5日	10月7日 (体育の日の前日)	随時
	内容	区内巡行・神社での奉納舞・戸隠式年大祭での奉納舞 他		
	いわれ ・特徴	<p>下祖山区には坪山、下内、中組、土合、積沢の五つの獅子頭があり春、秋の区の例大祭では組内に祭り囃子が響き、賑やかに盛大に獅子舞が奉納され、区民から拍手喝采を浴びていた。</p> <p>昭和になり後継者不足から一つ、又一つと獅子神楽が減り、昭和後半では下内組一つになってしまった。</p> <p>下内組の獅子は明治以前から伝わる女獅子、ほろ舞い 1・2・3 とおんべ舞いで構成されていた。平成になり明治以前からの基の獅子舞を復活させようと有志が立ち上がり長老の皆様方の協力を得て、見事復活させ現在に至っている。</p> <p>ほろ舞い 1・切れ幕 1・ほろ舞い 2・切れ幕 2・ほろ舞い 3・おんべ舞い・蚤とり・狂いと構成されおとなしく流暢に可憐に舞う女獅子ではあるが笛・大胴・鼓動・唄いが一体となり狂うとちょっと激しさを増し人々を魅了する獅子舞が完成した。</p>		